

3-2 調査計画（露地野菜）

露地野菜の部 No.1

項目：品種比較調査

調査名：ねぎの品種比較調査（新規：令和5年度～令和7年度）

1 目的 当地域におけるねぎの作型別適応品種について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 露地ほ場
- (2) 耕種概要
- 1) 育苗方法 チェーンポット CP-303 (264 穴) 2 粒播き
- 2) は種及び定植月日
- 〈は種〉 〈定植〉
- 7 月収穫：令和5年1月6日 令和5年3月19日
- 9 月収穫：令和5年3月29日 令和5年5月11日
- 10 月収穫：令和5年5月15日 令和5年6月中旬
- 3) 栽植距離 うね幅 100 cm、株間 5 cm (2 粒播き)
- 4) 定植本数 40,000 本/10a
- 5) 施肥量 N-P-K=18.0-18.0-18.0 kg/10a
- 【基肥】ハイパーCDU555(中期)(15-15-15)：40 kg/10a
- 【追肥】ハイパーCDU555(中期)(15-15-15)：40 kg/10a×2 回
- 6) 使用資材
- 7 月収穫：パワーリン(P:30%)：60kg/10a
- アヅミン(Mg:3%)：40kg/10a
- リン酸カリ溶液(リン酸濃度 1.15%)を定植 1 週間前及び定植当日に苗箱へ灌注：1L/箱
- 9 月及び 10 月収穫：
- パワーリン(P:30%)：60kg/10a
- アヅミン(Mg:3%)：40kg/10a
- 過リン酸石灰(P:20.5%)：16.6kg/10a×2 回
- 7) 収穫月日
- 7 月収穫：令和5年7月下旬
- 9 月収穫：令和5年9月中旬
- 10 月収穫：令和5年10月下旬

(3) 調査区の構成

- 1) 調査区
- 2) 供試品種

26 区 (1 区 40 本 (1.0m)、1 区制)

7 月収穫	9 月収穫	10 月収穫	メーカー名
夏扇パワー	夏扇パワー	夏扇パワー	(株)サカタのタネ
夏秋白扇 5 号	夏秋白扇 5 号 盛夏 790	夏秋白扇 5 号 盛夏 790	吉田種苗(株)
みちのく 701 はやぶさ 7	みちのく 701 はやぶさ 7	みちのく 701 はやぶさ 7	(株)パセリー菜
MKS-N40 MKS-N43	MKS-N40 MKS-N43 秋の宝山 冬の宝山	MKS-N40 MKS-N43 秋の宝山 冬の宝山	ヴィルモラン みかど(株)
	森のめざめ	森のめざめ	トキタ種苗(株)

- (4) 調査項目 生育、収量、品質

露地野菜の部 No.2

項目：品種比較調査

調査名：ピーマンの品種比較調査（新規：令和5年度～令和7年度）

1 目的 当地域におけるピーマンの露地栽培に適応する品種について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 露地ほ場
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 マルチ栽培
- 2) は種及び定植月日
- | | 〈は種〉 | 〈定植〉 |
|-----------------|------|--------------------------------------|
| ①4月定植：令和5年2月17日 | | 令和5年4月21日
(定植直後アイホッカ1枚
トンネル被覆) |
| ②5月定植：令和5年3月16日 | | 令和5年5月12日
(定植直後パスライト1枚
トンネル被覆) |
- 3) 栽植距離 うね幅 150 cm、株間 50 cm
- 4) 定植株数 1,300 株/10a
- 5) 施肥量
- <4月定植>
N - P - K = 49.4 - 19.7 - 38.8 kg/10a
【基肥】新豊作太郎 800 (18-10-10) : 133 kg/10a
【追肥】くみあい 燐硝安加里 S646 (16-4-16) : 31.9 kg/10a × 5 回
- <5月定植>
N - P - K = 44.4 - 18.4 - 33.7 kg/10a
【基肥】新豊作太郎 800 (18-10-10) : 133 kg/10a
【追肥】くみあい 燐硝安加里 S646 (16-4-16) : 31.9 kg/10a × 4 回
- 6) 使用資材 あったかマルチ、15 cm × 5 目フラワーネット (3 段)
- 7) 収穫期間 令和5年6月中旬～10月下旬
- (3) 調査区の構成
- 1) 調査区 4 区 (1 区 5 株、1 区制)
- 2) 供試品種
- | | |
|------------|----------|
| <1>ピクシー | (横浜植木株) |
| <2>No. 155 | (タキイ種苗株) |
- (4) 調査項目 生育、収量、品質

露地野菜の部 No.3

項目：栽培技術調査

調査名：ピーマン品種「ピクシー」の基肥量別収量比較調査（新規：令和5年度～令和7年度）

- 1 目的 当地域におけるピーマン品種「ピクシー」の露地栽培において、基肥量の違いが収量・品質に及ぼす影響について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

(1) 調査場所 露地ほ場

(2) 耕種概要

1) 栽培方法 マルチ栽培

2) は種及び定植月日

〈は種〉

〈定植〉

令和5年3月16日

令和5年5月12日

(定植直後パスライト1枚トンネル被覆)

3) 栽植距離

うね幅 150 cm、株間 50 cm

4) 定植株数

1,300 株/10a

5) 施肥量

【施肥量】

	〈基肥〉 (kg/10a)	〈追肥〉 (kg/10a)
	新豊作太郎 800 (18-10-10)	くみあい 燐硝安加里 S646 (16-4-16)
①	116	31.9×4回
②	133	31.9×4回
③	150	31.9×4回

【成分量】

	〈基肥〉 (kg/10a)			〈追肥〉 (kg/10a)			合計 (kg/10a)		
	N	P	K	N	P	K	N	P	K
①	20.9	11.6	11.6	20.4	5.1	20.4	41.3	16.7	32.0
②	23.9	13.3	13.3	20.4	5.1	20.4	44.4	18.4	33.7
③	27.0	15.0	15.0	20.4	5.1	20.4	47.4	20.1	35.4

【追肥時期】

定植後 60 日、以降概ね 20 日おき 計 4 回

2 回目以降の追肥間隔は草勢及び天候により調整

6) 使用資材

あったかマルチ、15 cm×5 目フラワーネット(3 段)

7) 収穫期間

令和5年6月中旬～10月下旬

(3) 調査区の構成

1) 調査区

3 区 (1 区 5 株、1 区制)

2) 供試品種

ピクシー (横浜植木㈱)

(4) 調査項目

生育、収量、品質

露地野菜の部 No.4

項目：栽培技術調査

調査名：ピーマン品種「ピクシー」の追肥量別収量調査（新規：令和5年度～令和7年度）

1 目的 当地域におけるピーマン品種「ピクシー」の露地栽培において、追肥量の違いが収量・品質に及ぼす影響について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

(1) 調査場所 露地ほ場

(2) 耕種概要

1) 栽培方法 マルチ栽培

2) は種及び定植月日
 〈は種〉 令和5年3月16日
 〈定植〉 令和5年5月12日
 (定植直後パスライト1枚トンネル被覆)

3) 栽植距離 うね幅 150 cm、株間 50 cm

4) 定植株数 1,300 株/10a

5) 施肥量

【施肥量】	
〈基肥〉 (kg/10a)	〈追肥〉 (kg/10a)
新豊作太郎 800 (18-10-10)	くみあい 燐硝安加里 S646 (16-4-16)
① 133	29.0×4 回
② 133	31.9×4 回
③ 133	35.0×4 回
④ 133	38.0×4 回

【成分量】									
〈基肥〉 (kg/10a)			〈追肥〉 (kg/10a)			合計 (kg/10a)			
N	P	K	N	P	K	N	P	K	
①	23.9	13.3	13.3	18.6	4.6	18.6	42.5	17.9	31.9
②	23.9	13.3	13.3	20.4	5.1	20.4	44.4	18.4	33.7
③	23.9	13.3	13.3	22.4	5.6	22.4	46.3	18.9	35.7
④	23.9	13.3	13.3	24.3	6.1	24.3	48.2	19.4	37.6

【追肥時期】

定植後 60 日、以降概ね 20 日おき 計 4 回

2 回目以降の追肥間隔は草勢及び天候により調整

6) 使用資材 あったかマルチ、15 cm×5 目フラワーネット(3 段)

7) 収穫期間 令和5年6月中旬～10月下旬

(3) 調査区の構成

1) 調査区 4 区 (1 区 5 株、1 区制)

2) 供試品種 ピクシー (横浜植木株)

(4) 調査項目 生育、収量、品質

露地野菜の部 No.5

項目：栽培技術調査

調査名：ピーマン品種「ピクシー」の整枝方法(生育初期)による収量比較調査

(継続：令和4年度～令和6年度)

1 目的 当地域におけるピーマン品種「ピクシー」の露地栽培において、整枝方法の違いが収量・品質に及ぼす影響について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 露地ほ場
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 マルチ栽培
- 2) は種及び定植月日
- | | |
|---------------------|-----------|
| 〈は種〉 | 〈定植〉 |
| 令和5年3月16日 | 令和5年5月12日 |
| (定植直後パスライト1枚トンネル被覆) | |
- 3) 整枝方法
- ①第2分枝を主枝4本、第3分枝を8本、第4分枝を12本に整枝、以降適宜整枝
- ②第2分枝を主枝4本、第3分枝を8本、第4分枝を10本に整枝、以降適宜整枝
- 4) 栽植距離 うね幅150cm、株間50cm
- 5) 定植株数 1,300株/10a
- 6) 施肥量 N-P-K=44.3-18.4-33.7kg/10a
- 【基肥】新豊作太郎800(18-10-10):133kg/10a
- 【追肥】くみあい燐硝安加里S646(16-4-16):31.9kg/10a×4回
- 7) 使用資材 あったかマルチ、15cm×5目フラワーネット(3段)
- 8) 収穫期間 令和5年6月中旬～10月下旬
- (3) 調査区の構成
- 1) 調査区 2区(1区5株、1区制)
- 2) 供試品種 ピクシー (横浜植木株)
- (4) 調査項目 生育、収量、品質

露地野菜の部 No.6

項目：栽培技術調査

調査名：ピーマン接ぎ木栽培調査（新規：令和5年度～令和7年度）

1 目的 近年、作付が拡大している当地域におけるピーマン露地栽培において、接ぎ木栽培が収量・品質に及ぼす影響について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 露地ほ場
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 マルチ栽培
- 2) は種及び定植月日
- ①自根：令和5年3月16日 (は種) 令和5年5月12日 (定植)
(定植直後パスライト1枚トンネル被覆)
- 3) 整枝方法
- ②台木：令和5年3月2日 令和5年5月17日
穂木：令和5年3月6日
接ぎ木：令和5年4月11日
(定植直後パスライト1枚トンネル被覆)
- 4) 栽植距離
- 5) 定植株数 うね幅150cm、株間50cm
- 6) 施肥量 1,300株/10a
N - P - K = 44.3 - 18.4 - 33.7 kg/10a
【基肥】新豊作太郎 800(18-10-10) : 133 kg/10a
【追肥】くみあい 燐硝安加里 S646(16-4-16) : 31.9 kg/10a × 4回
- 7) 使用資材 あったかマルチ、15cm × 5目フラワーネット(3段)
- 8) 収穫期間 令和5年6月中旬～10月下旬
- (3) 調査区の構成
- 1) 調査区 2区(1区5株、1区制)
- 2) 供試品種 <1> [自根苗] ピクシー (横浜植木株)
<2> [台木] TPE-173(タキイ種苗株) × [穂木] ピクシー (横浜植木株)
- (4) 調査項目 生育、収量、品質

露地野菜の部 No.7

項目：栽培技術調査

調査名：ながいも栽培のマルチ栽培による収量比較調査（新規：令和5年度～令和7年度）

- 1 目的 ながいも栽培におけるマルチの有無が収量・品質に及ぼす影響について調査・研究し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 露地ほ場
- (2) 耕種概要
- 1) 植付月日 令和5年5月31日
 - 2) 栽植距離 うね幅120cm、株間21cm
 - 3) 植付本数 3,968本/10a
 - 4) 施肥量 N-P-K=24.9-33.7-16.6kg/10a
【基肥】新パワーアップながいも(15.0-12.0-10.0) : 166kg/10a
 - 5) 使用資材 パワーリン(P:30%) : 46kg/10a
〈1〉メデルシート M815B (みかど加工株)
 - 6) 収穫月日 〈2〉マルチ無し
令和5年11月下旬
- (3) 調査区の構成
- 1) 調査区 2区(1区6.3m(30本)、1区制)
 - 2) 供試品種 園試系6(切片子) : 80~100g
- (4) 調査項目 生育、収量、品質